

兵庫で農業を始めたい方へ

ひょうごで
就農
ガイドブック



夫婦で露地野菜を育てています



農作業、めっちゃ楽しんでいます！



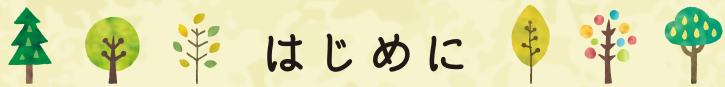
「農ある暮らし」充実しています



自慢の野菜です！美味いよ～！



ぼくたちのブドウ、最高です！



はじめに

就農・定着応援 エリアマップ



兵庫県では、ひょうご就農支援センターと13の地域就農支援センターで就農支援ネットワークを構成し、「農業を始めたい」と希望される皆さんからの相談に応じています。さらに、県、市町、農業団体とも連携し、新規就農の応援をしています。

相談に来られる方の思いは、「すぐにでも農業を始めたい」「農業法人等に就職して知識・技術を身につけたい」「農業体験や農村生活をしてみたい」など、様々だと思います。

一方、農業の現場では、担い手の不足・高齢化の課題を抱え、多くの地域で新たな担い手を求めています。

ひょうご就農支援センターでは、双方の思いに寄り添い、皆さんのニーズにお応えできるよう、種々の取り組みを行っています。今回、県内の15地域の新規就農策や移住策をご紹介します本冊子を発行しました。

ぜひ、あなたの希望する地域や農業のスタイルを見つけて、あなたの農業への夢が実現することを願っています。

公益社団法人ひょうご農林機構

ひょうご就農支援センター センター長 松元 一師

新規就農の先輩たち

表紙の



古谷浩二郎さん
幸子さん

就農地
丹波市

2019年、東京都から夫婦で移住。市営の「農(みのり)の学校」(1期生)卒業後、独立就農。在学中に地域とふれあえたり、市の協力もあり順調でした。現在は主に有機露地野菜を栽培しています。



左 前田 航さん
右 馬淵 亮さん

就農地
加西市

二人とも、加西市にある県立農業大学校を卒業。馬淵さんは2年間の海外研修も経験。一緒に谷川果樹園で研修をし、2016年、同時に新規就農。農機具などは共有しながらも、経営は別々に行っています。



中岡 聖さん

就農地
丹波篠山市

神戸の臨時移住相談会で丹波篠山を知り、2014年に大阪府から移住。全くの未経験から大規模農家さんで経験を積み、現在は自分らしい農業を実践中。農業の傍ら狩猟も行っていきます。



中島秀志さん

就農地
宍粟市

2018年に滋賀県から移住。32年勤めた外食産業のサラリーマンを辞め就農。農家レストラン「遊楽里」を経営しながら、年間約60種類の体に優しい有機栽培の野菜と米を栽培しています。



松崎寛之さん
瞳さん

就農地
市川市

2010年に神戸市から夫婦で移住。有機の第一人者である牛尾農場で研修した後、独立就農。合鴨農法による米作りや、何十種類もの野菜を有機農法で栽培し、京阪神のレストランなどに出荷しています。

各市町等には、さまざまな支援メニューがあります。

親方 親方農家による研修制度等があります。

研修 研修施設を設置しています。

農地 農地情報等の整備(農地バンク等)をしています。

施・機 就農時の農業用施設または機械等の導入費助成があります。

※このほか、国や県の支援策を受けることも可能です(P8参照)。詳細は各市町等担当者にお問い合わせください。



新規就農者も参加するファーマーズマーケット

都会近くの便利さと、農業に適した環境を兼ね備える人気就農地域

神戸市は県下有数の農業地域で、北区・西区に広がる豊かな農村地域は一年を通じて晴天が多く、多様な農作物が栽培されています。こちらで就農するためには、1年間、「兵庫楽農生活センター」等での研修か、農家での実務経験が必要ですが、この経験を通じて様々なアドバイスを受けられるので、安心して就農へ取り組みます。消費地に近いので新鮮な野菜を届けやすく、販売先も多く確保されています。さらに、町に近いことで住居に困ることも少なく、就農後の快適な暮らしも大きな魅力となっています。

神戸市

都市型農業で地産地消を推進



居心地100点
距離感100点

神戸市
農業委員会事務局
松本 嘉八さん

神戸市中央区御幸通6-1-12
三宮ビル東館2階
TEL.078-984-0387



私たちが
まっています!



●有野いちご部会顧問 滑浦武志さん

私たちが有野町の「二郎(にろう)いちご」は、六甲山のおいしい水と四季の寒暖差に恵まれ、神戸を代表するブランドいちごに育ちました。1960年代に西日本で初めて「いちご狩り」を始めてから、観光農園としてもお客様に喜ばれています。ぜひ私たちと一緒に未来へと続く「神戸ブランド」を守っていきましょう!

サポート します

親方 農地 施・機

就農支援 神戸市「農業経営力向上支援事業」(移住促進支援タイプ他4タイプ)
認定農業者をめざす農業者や新規就農者等を対象に、農業用機械・設備の導入に係る費用の一部を助成します。

- 条件/市内で農業を営み、農業経営開始から5年以内の方
- 補充対象/農業用施設および付帯設備の導入費用
- 補助率・上限金額/50%以内・200万円

*上記の例は「移住促進支援タイプ」の場合です。



定住、生活(子育て)支援

生活・子育て
支援も充実!



農村定住促進コーディネーターが、里山暮らしに関する疑問にお答えする相談会や空き家バンク等の情報は



神戸市HP内
「子育て・教育ページ」

「神戸・里山暮らしのすすめ」HP

宝塚市

ときめく日々がたからもの

夢をさがしに
宝塚!!



宝塚市 産業文化部
産業振興室 農政課

木村晴彦さん・岡田優花里さん

宝塚市東洋町1-1

TEL.0797-77-2110



私たちが
まっています!



●令和3年度新規就農者 舟子初さん

宝塚西谷地区は、農業生産に最適な立地条件があるだけでなく、近くに直売所があるなど販売にも適した地域です。そんな環境の中で、市が提供してくれる無償貸与パイプハウスを利用し、野菜作りをしています。試行錯誤の毎日ですが、経験豊富な認定農業者からの指導を受け日々頑張っています。



無償貸与されるパイプハウス(同タイプ)

サポート します

親方 施・機

就農支援 宝塚市「新規就農者確保事業」

農業大学校や研修施設の修了者を対象にパイプハウスを無償で貸し付け、市内の認定農業者による技術指導を実施し、農作物の生産を行ってまいります。

- 条件/①宝塚市で就農を志す45歳以下の方
②宝塚市民(3ヶ月以内に市民になることが確実な人を含む)
③西谷夢市場(宝塚市立農業振興施設)への出荷
- 貸付施設/パイプハウス1棟及び隣接する農地(宝塚市北部西谷地域)
- 貸付期間/2年間

定住、生活(子育て)支援

宝塚市の子育て支援メニューを網羅。妊婦・出産、子育てを応援する行政サービスガイド

「ママフレ」HP



グランフロント大阪
「Umekiki マルシェ」

暮らしのそばに広がる自然 特産物豊富な三田市で就農のスタートを!

三田市は、神戸・大阪の大都市近郊にありながら豊かな自然に恵まれた地域です。三田米をはじめ野菜や果樹、畜産物等、多様な特産物を大消費地に供給しており、グランフロント大阪など様々な都心に向きマルシェを行う事もあります。親方農家による農業研修など市独自の支援策が充実しており、若手の新規就農者やベテラン農家も多く、就農初期に相談しやすい環境があることも魅力です。自然と都市のバランスが揃ったこのまちで、一緒に農業を志す方を応援します!

三田市

明日の風がみえるまち



あなたを
応援します!!

三田市地域創生部産業戦略室
農業創造課
妻鹿 勝重さん

三田市三輪2-1-1

TEL.079-559-5089



私たちが
まっています!



●(左から)徳毛小春さん・おおにし農園 大西則和さん・静剛史さん

本格的に農家を始めたい方を歓迎します!二人は親方農家の大西さんのもとで野菜作りを学び、独立就農しました。「周りの方が優しく、相談できる環境が三田の良いところ」(徳毛さん)、「地域に根差した栽培方法を教わり、野菜の甘みを再発見できました」(静さん)。

サポート します

親方 農地 施・機

就農支援

- ☆認定農業者等のベテラン農家(親方農家)での農業研修を紹介します。
- ☆農地情報の提供・マッチングを支援します。
- ☆認定新規就農者を対象に、営農開始段階の初期投資を支援します。

- 条件/農業経営開始日から2年以内の認定新規就農者
- 補助対象/農業機械・設備・資材費等の初期投資にかかる費用
- 補助金額/1名につき最大50万円を助成



定住、生活(子育て)支援

「子育て先進都市」を目指す三田市の魅力的な場所・人・イベント等の情報や空き家バンクなど、生活支援メニュー満載

ポータルサイト「さんだうえるかむ」





神戸ビーフのもと牛となる「黒田庄和牛」を、 あなたの手で育てませんか？

日本列島の中心に位置する西脇市は、「日本のへそ」と呼ばれています。ここで古くから肥育されてきた「黒田庄和牛」は、世界に誇る神戸ビーフのもととなる牛です。肥育農家は高い技術力と牛への深い愛情を持って、2年間、じっくりと大切に育てあげ、日本一厳しいと言われる神戸ビーフの認定を高い割合でクリアされています。過去には農業インターンシップを利用された方と肥育農家さんの間で雇用就農に繋がった実績もあります。まずはインターンシップで体験する事から始めてみませんか？

●黒田庄和牛同志会 会長 三谷 悟さん

西脇市黒田庄地区には、知識と経験豊富な和牛の肥育農家が多く、日々研究を重ねながら肥育されています。常に牛への愛情を忘れず、表情や状態を観察しながら世話をしています。畜産は生き物を相手にする難しい仕事ですが、関心のある方はインターンシップを通じて体験してみてください。



西脇市

“日本のへそ”から世界に誇る和牛を



自慢の和牛を育てませんか？

西脇市産業活力再生部
農林振興課
岩根敬弘さん

西脇市下戸田128-1
TEL.0795-22-3111



サポート します

研修

就農支援 西脇市「農業インターンシップ支援事業」

☆農業インターンシップin西脇市 募集期間：2022年2月まで

黒田庄和牛や高設イチゴ栽培の農業体験。
希望者と受け入れ農家をマッチングし、最大10日間の農業体験を行います。

- 応募資格：概ね40歳までの就農を希望する方。もしくは農業に興味のある若者。
- 募集人数：5名程度 ※詳しくはお問い合わせください。

定住、生活(子育て)支援

市独自の手厚い移住支援制度や子育て・教育支援制度などを網羅した西脇市の移住・定住総合サイト



「ほっこり、のんびり、にじわごころ」

加西市

加西市新規就農促進協議会

「農」に生きる「かさい」で生きる

本気になったら
加西市へ!

加西市地域振興部
農政課
河村 諭志さん

加西市北条町横尾1000
TEL.0790-42-8741



●谷川果樹園 谷川定隆さん

昭和45年に18歳で実家のブドウ畑を継ぎました。農業は、やりたいという気持ちだけでは難しい仕事。ブドウでは一人あたり5000㎡以上という広い面積で栽培しないと収入が安定しません。これまでに15人のブドウ農家を育てましたが、ときにはやめる事を勧めたこともあります。農業は一人では出来ません。地域との繋がりを大切に、アドバイスをもらえる人を見つけることが大切です。



サポート します

親方 研修 農地 施・機

就農支援 加西市「新規就農者支援事業」「就農研修受入農業者支援事業」

☆新規就農者の研修受入れ制度

●就農者または就農を希望する方が、一定期間市内の農家等に教われる研修制度です。(受入期間:6ヶ月以上1年以内)

☆新規就農者を対象とした支援策

- 経営自立安定化支援：1年目15万円/月、2年目10万円/月、3年目5万円/月
- 施設機械整備支援：導入費用の1/2 (上限300万円)
- 農地賃借料助成：金額(上限あり) ※6年以上の権利設定が必要
- 住居費助成：12,000円/月 ※市内の民間賃貸住宅に居住が必要



定住、生活(子育て)支援

子育て・医療・暮らしの支援など、加西市の魅力が詰まったプロモーションサイト



「イーナかさい」



林田チャレンジ農園

関係機関と緊密に連携し、 多数の就農事例をもとに相談に応じます

農業は様々な関係機関から成り立ち、どこに相談すればいいのか迷う場合もあるかもしれませんが、こちらに連絡をいただければ、常に各関係機関と連携しているので、多角的な情報からスムーズにお答えできます。また、広い農業地域を有していますから、様々な事例も多く、パンフレットやYouTube、HPなどで分かりやすくご説明できます。本格的な農業を体験できる施設「林田チャレンジ農園」も昨年完成し、これから農業を始めたいと考えられる方はぜひ、姫路市へ気軽にご相談ください。



●播州姫路吉田農場 代表 吉田勝博さん

大学までは農業と全く関係の無いことを学んでいましたが、高齢者と関わる仕事をしたいと考えていたことで、高齢化問題に直面する農業に興味を持ち、まず農業法人で働き始めました。10年間勤め、独立し、現在12haで水稲栽培をしています。姫路市にはたくさん相談ののってもらいましたが、どこで何を作り、どこへ売りたいのか、出来るだけ早く相談する事が大切です。

姫路市

“姫そだち”ブランドで地産地消を推進



何でも相談してください!

姫路市産業局農林水産部
農政総務課
栗山 奨平さん

姫路市安田4丁目1
TEL.079-221-2476



サポート します

研修 施・機

就農支援

☆林田チャレンジ農園(本格的農業チャレンジ区画) 令和4年度は現在募集中。詳細はHPをご覧ください。

市民農園「林田チャレンジ農園」では、本格的な農業に挑戦することができる講習付き区画を整備。

姫路市農業振興センターの専門職員が栽培技術指導を行っています。

(対象) 姫路市内在住・在勤の人(期間)1年間(4~3月)(使用料)年間156,000円

※講習会は年間40回程度開催 ※一般貸し農園区画(年間18,000円)もあります。

☆新規就農者早期経営安定事業補助金 農業機械等を導入する認定新規就農者に対し、経費を補助します。

- 補助額/補助対象経費の2分の1(兵庫県1/4・姫路市1/4)

定住、生活(子育て)支援

姫路市子育て支援総合情報サイト



「わくわくチャイルド」

姫路市HP内



「移住・定住促進ページ」



有機農業と言えばここ！有機の里 「笠形オーガニックヴィレッジ」で学ぼう

ここ市川町では、40年前から有機農業を始め、平成28年には地域協議会が発足、町ぐるみで有機農業の普及に取り組んでいます。第一人者の牛尾さんが代表を務める「笠形オーガニックヴィレッジ」という有機農業に取り組む仲間が集まる地域もでき、初心者から有機農業のノウハウをしっかりと学べる環境も整いました。最近特に、県外からの移住を希望する方も増えています。町へのアクセスが良い立地なので、暮らしやすく、販売などでも有利です。今後もさらに有機農業の普及を進めていきます。

市川町

“I”から始まるハート型のまち




体にやさしい
人にやさしい

市川町
地域振興課
菅野 正寛さん

市川町西河辺165-3
TEL.0790-26-1015



私たちが
まっています！




●**笠形オーガニックファーマーズ**（地域の代表や農家で形成される協議会）
笠形地区で、自然に配慮した健康的な米づくり、野菜づくりを実践しています。なかでも「笠形コーン」「まちこネギ」「市川太なす」のブランド化を目指しがんばっています。有機農業に興味のある方は、ぜひ私たちと一緒に取り組みませんか？ヴィレッジではベテランの先輩農家から多品目の栽培技術や販売などトータルに学べるので、幅広い知識を養うことが出来ます。

サポートします

就農支援 実践農場での有機農業体験


市川町では、上牛尾地区を有機の里「笠形オーガニックヴィレッジ」と位置づけ有機農業を基礎から学ぶことができます。

●**有機農業体験 定員10名（先着順）**
春夏コース（3月～7月） 募集期間：1月から2月末まで
秋冬コース（8月～1月） 募集期間：7月から8月末まで 年2期開催



定住、生活(子育て)支援

令和2年度から令和7年度までの間に住宅を取得し、定住していただく方に対して奨励金を交付する市川町「若者定住促進住宅取得奨励金制度」があります。



穴粟市

森とともに生きるまち

就農支援豊富です
ぜひご相談ください



穴粟市産業部農業振興課
農業振興係
和井 秀明さん

穴粟市山崎町中広瀬133-6
TEL.0790-63-3109




美しい森と共にくらし、自立を目指す トマト栽培はいかがですか？

寒暖の差が激しく、野菜や果物が美味しく作れる気候風土で、消費地にも近く、チャレンジし甲斐のある地域です。トマトがハウス栽培でよく作られており、優秀な先輩も多くいますので、学べる環境も整っています。ぶどうやリンゴ（県内生産量1位）なども作られており、イチゴも伸びつつあります。移住者も多く、空き家バンク契約数全国3位！支援も充実しており、特に農地付き空き家が人気です。有利な助成金を活用し、農家レストランを経営する方もできました。豊かな自然の中で就農を目指しませんか？



私たちが
まっています！

●**株式会社しそ前田農園 代表取締役 前田剛志さん**
大手家電メーカーで10年働いていましたが、農業体験を経て就農を目指しました。まず農業法人で1年間勤務し、次に転籍し農場長として2年間勤務、そして独立しました。トマトは栽培が難しく、採算に乗せるにもそれなりの面積や設備が必要。でもしっかりやれば安定した収入が得られます。次の展開として、いちごや桃、ブルーベリーといった新しい作物にチャレンジしています。




サポートします

就農支援

☆農地付き空き家に限り、農地下限面積1アールで取得可能。
☆新規就農・定住促進奨励事業補助金
市内に居住し、新たに農業経営をしようとする人を最長3年間支援します。


- 対象者：穴粟市に居住する年齢が55歳以下の人、等。
- 補助対象経費：農業経営に要する費用。
- 補助金額：対象となる経費の10分の10以内。採択1年目100万円/年。QR参照。



定住、生活(子育て)支援

- 住宅取得で140万円補助
- 高校生まで医療費無料
- 第3子以降の学校給食費無料 等

移住者向け情報サイト
「穴粟の森林の家族時間」





梨農家を目指す方、待ってます！ 定年帰農にもオススメです。

日本海の潮風を浴びて育った甘くて瑞々しい「香住梨」をはじめ、「但馬牛」、「松葉ガニ」、特Aランクの「コシヒカリ」など、香美町は最高に美味しい食材の宝庫です。梨栽培においては、香住果樹園芸組合が、梨の共同選果、販売、組合員への技術指導を行い、県関係機関・農協との連携のもと、手厚いサポートを行っています。冬場の収入源としては、松葉ガニで賑わう民宿等で働くことも可能です。夏は川や海で泳ぎ、冬はスキーやスノボで遊ぶなど、四季折々の大自然を満喫できる暮らしも魅力です。

香美町

豊かな自然・食材の宝庫

自然の恵みが
もて梨ます！

香美町農林水産課
宮脇 溪汰さん

美方郡香美町
香住区香住870-1
TEL.0796-36-0846



私たちが
まっています！



●**香住果樹園芸組合長 駒居 勝さん**
梨の栽培は根気が必要な品目ですが、ある程度自分の時間が持てる仕事でもあります。収穫期など忙しい時期もありますが、夏は釣り、冬はスキーなどを楽しみながらといったやり方も可能です。サラリーマンで定年を迎えた方にもおすすめですが、梨は収穫までに時間が掛かるので早めに一度ご相談ください。第2の人生に梨栽培はいかがですか？

サポートします


就農支援

☆**就農体験マッチング**
農作業体験を受け入れ可能な梨農家とマッチングします。まずは1週間程度の農作業体験を用意しておりますので、感触を掴んでから就農に向けて取り組むことをおすすめします。

☆**空き農園マッチング**
関係機関と空き園となる農地について情報共有をし、就農希望者とのマッチングを支援します。梨は一から始めると収穫までに数年かかるので、現在使っている梨園を借りられるようにできる限り支援していきます。

定住、生活(子育て)支援

香美町の子育て支援および空き家バンクの情報は、香美町移住定住支援サイト「WONDER KAMI」をご覧ください。





高原の爽やかな空気の中で、 特産品「轟(とどろき)大根」を育てませんか？

養父市は県北部に位置し、県下最高峰の氷ノ山がそびえる、雄大な自然に恵まれた地域です。特産品「轟大根」は、この高原の清涼な空気をたっぷり受けて育ち、ジューシーできめ細かいことが特徴です。また、農業初心者にも取り組みやすく、経営の安定も期待できる品種となっています。福祉や子育てなどあらゆる支援が他地域より優れていて、冬場はスキー場で働く事も出来、実は光ケーブルも幅広く整備されていますから、意外と便利で暮らしやすい環境が整っています。

養父市

高原地域で野菜づくり



なにかと読めないまち
"やぶし"

養父市 産業環境部
農林振興課
長村 憲佑さん

養父市広谷250-1
TEL.079-664-0284



私たちが
待っています！



●轟大根生産組合 組合長 木戸孝太郎さん

養父市の魅力はなんと言ってもこのロケーション。この地で穏やかに子育てをしたいと思い、大阪から20年前に移住してきました。農業は全くの初めてでしたが、地元農家や関係団体の支えもあり、順調に就農でき、これまで続けて来られました。この魅力多い地で、これからは親方としてもこの養父市で就農に取り組む方々を支えていきたいと考えています。

サポート します

親方

就農支援 養父市「新規就農希望者研修支援交付金」

養父市で新たに就農する方を対象に、農業研修を行うために親方農家とのマッチング相談や研修期間中の所得確保のための交付金を交付します。

- 条件/養父市で就農する方(開始年齢が50歳未満)
- 交付対象/親方農家のものとで年150日以上就農研修を行う場合
- 交付額/月額15万円(最大3年間)

定住、生活(子育て)支援

養父市移住定住
促進U・1ターン
総合サイト



養父で空き家をさ
がしてみませんか？



「やぶぐらし」HP

「養父市空き家バンク」HP

丹波篠山市

自然の気候風土に恵まれた日本一の農業の都

頼りになるベテランが
いっぱいいるから
安心です！



丹波篠山暮らし案内所 classo
仙林 寛実さん
丹波篠山市農都創造部
農都政策課
木寺 綾乃さん
丹波篠山市北新町41
TEL.079-552-1114

私たちが
待っています！



「日本農業遺産」に認定された 黒大豆栽培の担い手になりませんか？

丹波篠山市は、京阪神へ1時間というアクセスの良い立地にありながら、やすらぎある農村風景や江戸時代の風情を残す古いまち並みなど魅力ある地域資源に恵まれたまちです。「丹波黒大豆」や「山の芋」は全国的にも有名で、この度、300年の歴史ある黒大豆栽培が、農林水産大臣から「日本農業遺産」に認定されました。就農を希望される方には、研修制度や農業体験施設もあり、個々に合わせたサポートも行っています。



●黒大豆栽培に取り組む若手農業者たち

たくさんの壁にぶち当たるとは思いますが、丹波篠山には先輩農業者がたくさんいるので、悩んでいるときは助けてくれます。また、有機農業をはじめ、市内では様々な農法に挑戦している先輩農業者もいます。是非一緒に丹波篠山ブランドを育てましょう！お待ちしております！

サポート します

研修

就農支援

- 市が運営するウェブサイト「classo」にて、研修会や先輩農家の紹介など様々な情報提供を行っています。ぜひご覧ください。
- 丹波篠山農学校「楽農スクール」では、農業を営む上で必要な知識や技術を学べる様々な講座や研修を行っています。
- 就農後は、農業用機械の導入支援や、「オペレータースクール」といった農機具の勉強会があるなど、就農後のサポートも行っています。

定住、生活(子育て)支援

移住の相談窓口「丹波篠山暮らし案内所 classo」では、豊富な知識を持った移住定住アドバイザーが親身に相談に応じます。



場所/丹波篠山市黒岡191 丹波篠山市民センター内
TEL/079-552-4141(月~日10時~17時受付)
※空き家バンク、仕事情報などもHPに掲載しています。



「農の学校」でのひとこま

歴史ある緑豊かな里山で 有機農業を学びませんか？

丹波市が誇る「丹波大納言小豆」は、特産物の1つ。有名菓子店の和菓子にも使われる有名ブランドとなっており、古くから、農家が高い技術とこだわりを持ち、守り、育んできました。また、有機栽培にも力を入れ、平成31年4月に開校した「丹波市立 農(みのり)の学校」では、有機農業における栽培技術から販売、経営までトータルに学べます。今年2月にはハウスも建て、さらに実習内容も充実しています。丹波市は京阪神から一時間半圏内に位置し、「都会に近い田舎」で、恵まれた立地でもあります。

私たちが
まっています！



●丹波市立 農(みのり)の学校 (全日制1年間)

現在、第3期生20名がそれぞれに思い描く「農ある暮らし」を実現するため、有機農業を日々学んでいます。第1期生から8名、第2期生からは6名の市内での就農者を輩出し、現在活躍中。農業に必要なことを学べ、即戦力を育てる理想の施設です。家賃補助や農業機械導入補助、農具貸し出しなどサポートも充実。現地説明会も受講生募集期間中に毎月開催しています。

丹波市

有機の里「丹波」



暮らしをみたい！
を応援します

丹波市産業経済部
農林振興課
秋山 晴香さん

丹波市春日町黒井811
TEL.0795-74-1465



サポート します

親方 研修 施・機

就農支援

- ☆丹波市立農の学校受講者等支援事業 令和4年度生の募集は8月開始予定です。お問い合わせください。市外在住の農の学校受講者に対し、受講に当たり、市内に新たに戸建又は集合住宅を借りる場合、受講期間中に要する家賃の一部を助成します。
- 補助対象事業/戸建又は集合住宅の家賃 ●補助率・上限金額/家賃の2分の1以内、月額上限25,000円(最长12カ月補助)
- ☆認定新規就農者等育成支援事業 認定新規就農者を対象に、農業用機械又は施設を導入する場合に費用の一部を補助します。
- 補助対象事業/農業用機械又は施設の導入(認定期間に機械・施設それぞれ1回ずつ補助)
- 補助率・上限金額/導入経費の2分の1以内、上限60万円

定住、生活(子育て)支援

空き家バンクの情報や移住者体験談など、移住に関する相談をワンストップで受け付け



子育てイベントや子育て支援情報を発信



「丹波市移住・定住ポータルサイト TURN WAVE」

「すくすくポケット(丹波市子育て支援サイト)」



体力、熱意、根気のある方、 洲本市は全力でバックアップします！

淡路島の中心にあり、人口約4万3千人、大型病院や大手スーパーなど、生活に必要な都市機能が充実している洲本市。ここでは、米と野菜を合わせた多毛作系農業が特徴です。温暖な気候を利用して、一年中作物の栽培が行われるため、他の地域より出荷時期をずらして販売できるメリットがあります。また、様々な作物を育てられる環境であり、農業のスタイルとして個性を出しやすい地域でもあります。自然と都市がバランス良く揃った洲本市で、いっしょに農業に取り組みましょう！

洲本市

島なのに便利なトカイナカまち

頑張るあなたを応援します！

洲本市 産業振興部
農政課 課長 手育成係
大傍 善之さん
奥野 紗織さん

洲本市本町3丁目4-10
TEL.0799-24-7638

私たちが待っています！

●**上村 翔太さん (2019年就農)**
現在は、たまねぎ、サニーレタス、その他露地野菜を生産しています。自分なりの目標があって一般企業を退職し、好きな農業を目指しました。就農してみて、農地を探すのも機械を借りるのも、すべて人間関係が大切だと実感しました。農作業をしていく中で試行錯誤を重ねていますが、周りの方や関係機関のサポートを受けて頑張っています。

サポートします

親方

就農支援 洲本市「親方制度」

次世代の農家を育てたいと考えている先輩農家(37名)と協力し、体験研修から就農実践研修、就農までをサポートしていきます。

STEP1 事前相談
できるだけ具体的なプランをヒアリングし、体験研修のスケジュールを組みます。

STEP2 体験研修(約1週間)
研修を通して農業だけでなく洲本での生活がイメージできます。

STEP3 面談
体験研修を踏まえ、改めて就農までのビジョンをお伺いします。

STEP4 就農実践研修(約1年)
親方農家から栽培技術や経営方法等を学ぶとともに、地域になじみながら、就農の準備を進めます。

定住、生活(子育て)支援

すもと新生活スタートアップ支援事業(移住世帯)
令和3年4月1日以降に淡路島外から移住し、住宅を購入または賃借する2人以上の世帯(夫婦、親子関係等)に対して、転入日前3か月にあたる日から転入日後1年を経過する日までに負担した費用(住宅取得費用、家賃、引越費用、車購入費用)を支援します。

JA兵庫六甲

最先端園芸施設でプロ農家を育成

トマトのプロ農家を
目指そう！

兵庫六甲農業協同組合
営農経済事業部
和田 隆佑さん

神戸市北区有野中町2丁目12-13
TEL.078-981-6871

最先端ハウスでトマト栽培を学び、 未来の農業経営者(リーダー)を育てます！

未来の農業経営者を育成するため、「ゆめファーム兵庫六甲 農業経営者育成塾」では塾生を随時募集しています。まずは1年間、環境制御システムを導入し水耕栽培を行う最先端園芸施設で働きながら高度な技術を学び、2~4年目は、樋谷地区で農業知識・技術、実践的農業経営など、栽培経験者指導のもとで学び、独立に必要な全ての知識を身につけます。卒業後は、農地取得など独立経営に向けた関係機関からのサポートも充実しています。トマトのプロ農家を最高の環境で目指しましょう！



私たちが待っています！

●**ゆめファーム兵庫六甲卒業生 樹本 裕行さん(研修開始H30年~卒業・就農R1年)**
農業経営者になることが夢で、こちらの農業経営者育成塾に応募しました。この研修を通じて、環境制御による最先端のトマト栽培を基礎的な部分だけでなく、実践的な内容まで学べたので、独立した今も大いに活かしています。また、JAをはじめ各関係機関との繋がりも出来るので、安心して就農することができました。今後はさらなる技術向上を図り、がんばっていきます！

サポートします

研修

就農支援 JA兵庫六甲「ゆめファーム兵庫六甲 農業経営者育成塾」

1年目
ゆめファーム兵庫六甲
(神戸市北区大沢町)で研修
※収入を得ながら学ぶことができます。

2年~4年
ゆめファーム兵庫六甲はげざに
(同市西区樋谷町)で実践的農業経営
※収入を得ながら学ぶことができます。
10a当たり40tを目標に！

5年
独立経営開始!
農地取得など、関係機関がサポートします。

【平成27年度~現在】
卒業生:3名
(うち1名は元年度就農、2名は3年度就農予定。)
研修生:2名
(R2年度~研修中)

●募集人数/若干名
●募集対象者
農家子弟及び当組合管内で営農活動を計画し、農業に対する固い意志と熱い思いがある方。
※説明会、募集受付は随時行っています。詳細はお問い合わせください。



「日本農業遺産」に認定された和牛の聖地で、 世界に誇る牛を育てませんか？

美方郡産但馬牛は、地域産の良質な草を与えられ、山に放牧され、棚田で使役されながら家族同様に愛情深く大切に育てられてきました。この受け継がれてきた伝統的な農業システムが農林水産省に認められ、平成30年度に「日本農業遺産」に認定されました。畜産では日本初の快挙となります。これからもこの素晴らしい農業を守り続けて行くため、若い力を求めています。この特別な農業の継承者になれることは大きな魅力ではないでしょうか。ぜひ一緒に守り育てていきましょう！

私たちがまっています！

●**佃 みのりさん (2013年農業大学校卒業・雇用就農→2020年自己経営開始)**
動物が好きで農業高校に入学しました。授業では牛と触れ合う機会が多く、牛に関わる仕事がしたいと思い、農業大学校卒業後は派遣実習でお世話になった森脇畜産に就職。2020年9月の但馬家畜市場では初めて子牛を購入しました。現在は森脇畜産に一部牛舎を借りて、飼養管理をしています。今後は徐々に牛を増やしていき、のんびりと牛飼いを続けることが目標です。

美方郡産但馬牛

世界・日本農業遺産推進協議会

愛情深く育てられる和牛の聖地

世界に誇る和牛を育てよう！

新温泉町役場
農林水産課 農政畜産係
中川 努さん

美方郡新温泉町浜坂2673-1
TEL.0796-82-5626

サポートします

親方

就農支援

新温泉町にある「兵庫県立但馬牧場公園」では、気軽に牛とふれ合うことが出来ます。施設内、「農業遺産体験館」も新しくオープンし、まずは但馬牛の歴史や文化を学んでみてはいかがでしょうか。

●**香美町**
ご希望を伺い、雇用や研修等の受け入れ可能な地元大手農家とマッチングサポートをいたします。

●**新温泉町**
現在、研修の受講枠は満員となっているため、従業員を募集している地元農家をご紹介します。働きながら畜産を学んでいただく事となります。

定住、生活(子育て)支援

香美町の子育て支援および空き家バンクの情報は、香美町移住定住支援サイトを「WONDER KAMI」をご覧ください。

新温泉町の支援に関する情報は、公式HP内、くらしのページをご覧ください。



「農業をやりたい」 そんなあなたを応援します!



就農希望者

兵庫県で農業がしたいけれど…

- ・どこでやるのがいいかな?
- ・地域の人に受け入れてもらえるかな?
- ・どんな作物をつくったらいいだろう?
- ・農地や機械はどうしよう?
- ・子育てなど生活環境はどうなってるの?



ひょうご就農支援センターはここまでやる!!

ここで差が付く! 相談前の準備を紹介

HP等就農事例や経営試算等の情報収集
自宅近隣の家庭菜園や貸農園での農業体験

1 相談カード入力

ひょうご就農支援センターHPから入力できます。
相談開始 (オンラインも可)

2 就農相談会・就農バスツアーに参加

3 短期体験 (インターンシップ研修)

農業法人等で7日間の体験。
数カ所です実施することも可能。

4 自分に合った農業スタイルを選ぶ

【本格的な独立就農】or【農業法人等で雇用就農】

5 スタイルに応じた研修 (1~2年)

6 就農

!!!
応援チームが
橋渡し!



地域ぐるみで皆さんを支えます!

地域就農・定着応援プラン

プランにはこんな情報が

●こんな地域の魅力があります



体験(インターンシップ)

●こんな人にきてほしい

●就農サポートメニュー

- ・技術・経営ノウハウ習得
- ・農地あっせん 等



技術指導



農地あっせん

●生活サポートメニュー

- ・地域へのとけこみ支援
- ・空家情報
- ・子育て支援 等



独立就農、雇用就農情報



空家情報、子育て支援等

新規就農者受け入れ希望地域



← 兵庫県HP 就農・定着応援プラン一覧

マイナビ農業 [兵庫県] 「ひょうごde就農」 →



地域単位の応援チーム

市町単位の応援チーム

「本格的な就農」を目指す方には、 国や県の支援・助成制度も活用できます

国 農業次世代人材投資事業(資金交付) 「準備型」と「経営開始型」の2つがあります

準備型

兵庫県立農業大学校等の県が認める農業経営者育成教育機関・先進農家・先進農業法人等で研修を受ける場合、研修期間の所得を確保する資金を交付します(年間150万円、最長2年間)。

経営開始型

就農直後の経営確立を支援する資金を交付します(年間最大150万円、最長5年間)。

新たに農業を始める方が作成する「青年等就農計画」を市町が認定した「認定新規就農者」であることが必要です。

※上記以外にも、「原則として就農時の年齢が50歳未満」など、交付要件を満たしている必要があります。詳細については、ひょうご就農支援センターまたは、就農地の市町の農業担い手担当部署にご相談ください。

国 青年等就農資金(無利子融資)

市町村が認定した「青年等就農計画」に即して農業経営を開始するために行う機械・施設の購入等に必要資金を無利子で借りることができます。

- 貸付対象者/認定新規就農者 ●貸付主体/日本政策金融公庫
- 資金用途/施設、機械等の取得(農地の取得は除く)、長期運転資金等
- 貸付限度額/3,700万円(特認限度額1億円) ●償還(据置)期間17年以内(うち据置5年以内)

お問い合わせ 日本政策金融公庫 神戸支店 TEL078-362-8451

兵庫県 農業施設貸与事業 (園芸用ハウス等導入助成)

新規就農者の初期投資負担軽減のため、リース等による園芸用ハウスの導入を支援します。

- 対象者/認定新規就農者
- 対象施設/園芸用ハウス及びその付帯施設・機械
- 助成額/経費の1/2以内を補助

お問い合わせ 県内各地のJA(農業協同組合)

お問い合わせ

兵庫県農政環境部農政企画局 農業経営課 担い手対策班
TEL.078-362-9194 (直通) E-mail nougyoukeiei@pref.hyogo.lg.jp
ひょうご就農支援センター TEL.078-391-1222

